

# 令和5年度 長崎市立橋中学校 学力向上プラン

学校教育目標 「心豊かでたくましく自他を尊び自立する生徒の育成」  
研究主題「自ら進んで学び、確かな学力を身につけた生徒の育成」  
～かかわり合い、学び合い、支え合い、高め合う活動を通して～

## 《家庭・地域との連携》

- 一人一台端末のAIドリル等も有効活用しながら個別最適な家庭学習の習慣化を図る。
- 生活習慣の徹底を啓発する。
- 一人一台端末を活用した連絡事項（時間割・宿題など）のデジタル化を行う。

### 【取組指標】

- ★学校評価アンケートにおける「一人一台端末を活用した家庭学習の習慣が身に付いている（生徒）」→80%
- 「一人一台端末を活用した連絡事項の確認を行っている（生徒）」→90%

## 《目指す授業》

○長崎県授業改善メソッドを意識し、主体的・対話的で深い学びの実現へ向けて授業改善を図る。

- 「めあて（課題）」と「まとめ」が生徒に届く授業
- ねらいに即した「書く活動」を重視する授業
- 「学習規律の徹底」と「支持的風土の醸成」により安心して学べる授業

〔重点取組〕ユニバーサルデザイン（UD）の手法を取り入れた授業改善

- 「環境づくり」：黒板周辺の掲示物の精選や教室環境の整備
- 「視覚化」：簡潔な指示・説明、生徒の理解を補助する情報の視覚化
- 「構造化」：時間（流れ）の構造化、場所の構造化、学習スタイルの構造化
- 「協働化」：授業内での協働的な学びの場面の設定

### 【取組指標】

- ★学校評価アンケートにおける「生徒の思考力・表現力を向上させるため、ユニバーサルデザイン化に取り組んでいる。（教職員）」→80%
- ★学校評価アンケートにおける「先生は、私たちが主体的・対話的に取り組み、学びが深まるわかりやすい授業を行っている。（生徒）」→80%

## 《教員の意識・指導力の向上》

- UDの視点を大切にした授業研究を全教員参加で行う。また、参観時には参観対象生徒を決め、生徒の反応から手立での成果を見取る。

〔重点取組〕UDの理解とニーズに合った取り組み。アンケートを行い、共通理解を図る。知識習得・研修・実践

### 【取組指標】

- ★学校評価アンケートにおける教職員の研修満足度 →80%

## 《学力の基盤づくり》

- 「3分前入室 2分前着席 1分前黙想」全ての教科において学習規律を徹底し、学びの習慣化を目指す。
- 学力の土台となる基本的な生活習慣の定着や自主学習の充実に向け、家庭との連携を図る。
- コミュニケーション活動を通して、言語活動の充実を図る。
- 全員が挙手できるような支持的風土の醸成を図る。

### 【取組指標】

- ★生徒対象授業UDアンケートにおける「321運動により落ち着いて授業をスタートできたか」「教室は挙手しやすい雰囲気があるか」→80%
- ★家庭学習の実施時間を、全国平均まで近づける。（全国学力調査生徒質問紙）

## 《本校生徒の抱える学力課題及び要因の考察(全国学力学習状況調査より)》

### 課題

- ①国語科の「自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する問題や意図に応じて話の内容を捉え適切な質問をする力」において全国平均を下回っている。
- ②数学科のデータの活用「データの特徴を捉え数学的な表現を用いて説明する問題」において全国平均を下回っている。
- ③英語科の「社会的な話題に関して聞いたり、考えやその理由を話す問題」において全国平均を下回っている。

### 要因(仮説)

- ①得た知識を活用し、熟考した上でアウトプットする（人前で自分の考えを話したり書いたり）という学習活動が不足していた。
- ②数学的な事象を、批判的に考察し判断するとともに、その理由について話し合う場面が不足していた。
- ③ICT機器を活用して英語の音声を聞いたり話したりする活動が不足していた。